

せいなんだより 2020年6月号

早良区子どもプラザ
西南子どもプラザ



〒814-0002 福岡市早良区西新 3-13-1

TEL 092-846-9207 FAX 092-846-9208

早良区子どもプラザ／西南子どもプラザ（愛称“せいなん”）は、福岡市の委託を受けて西南学院大学が運営しています。

6月の予定



開館時間：午前 10 時～午後 4 時

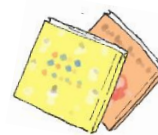
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	休館日					
7	8	9	10	11	12	13
休館日						
14	15	16	17	18	19	20
休館日						
21	22	23	24	25	26	27
休館日						
28	29	30	コロナウイルス感染症拡大防止のため、定例の休館日以外にも臨時に休館する場合があります。HPをご確認ください。			
休館日						

せいなんスタイル

長かった自粛生活でしたが、ようやく緩和へととなりました。お家での生活でいろいろ工夫されながらも、先が見えず不安な日々を過ごされたことと思います。

今月は、気持ちが少し明るくなる絵本を 2 冊ご紹介いたします。

まずは「それしかないわけじゃないでしょう」ヨシタケシンスケ 作 白泉社



ヨシタケさん自身が様々なインタビューに答える中で、「それしかないわけじゃないよね」ということに気付かれてできた絵本です。

考え方ひとつで新しい未来が見えてきます。発想を広げ選択肢を増やすことで、気持ちに変化が生まれることをユニークに伝えてくれています。子育てで息切れした時は、「だーいじょうぶ」とまずは一呼吸。きっと新しい発想が生まれ、気持ちが少し明るくなると思います。

次に「だるまちゃんとてんぐちゃん」加古里子 作 福音館書店をご紹介します。

てんぐちゃんの持っているうちわ、帽子、高下駄、長い鼻に憧れ、同じように欲しがるだるまちゃん。その度にお父さんのだるまどんが大奔走。だるまちゃんの欲しいものに応じて、だるまどんが様々なものを一堂に並べてみせます。ところが、だるまちゃんは気に入らず自分なりのものを次々と考え出します。だるまどんの懐の大きさ、だるまちゃんのユニークな発想に脱帽です。

また、だるまちゃんの発想のヒントが絵に隠されていて発見するのも楽しいですよ。

さおり先生の「あわてんぼう母さんの月イチ日記」



こんにちは。暖かくなり、緊急事態宣言が解除され、少し落ち着いた毎日を過ごされていると思います。
毎日ずっと一緒だった娘（7歳）との生活は、思いのほか快適で、楽しいものでしたが、娘の学校が始まり、そのことに伴い私の生活も変化しました。人間は変化を経験すると、その経験が良いものであっても、悪いものであってもストレスを感じます。今回の新型コロナウイルスの感染拡大に伴う日本社会、世界の変化は非常に大きいものでした。みなさまも大きなストレスを感じられたと思います。急な、そして大きな変化は、ストレスを増大させますので、少しずつ元の生活のペースに戻していただき、体調管理にも気を配っていただきたいと思います。ご自愛の上お過ごし下さい。

プラザ長を務めます柳澤さおりです。
本学人間科学部で、社会心理学を担当しています。
娘とわいわいと大騒ぎの毎日を過ごしています。



リレーコメント ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

初めまして！この度、約8年ぶりに再びスタッフとして仲間入りさせて頂くことになりました、川波理紗子です。大好きだった子どもプラザにまた戻ってこられたことを、とても嬉しく思っています(*^_^*)

私自身も日々試行錯誤し悩みながら、只今小学2年生と、年中さんになる兄弟の子育て真っ最中です^_^

これからプラザで出会う利用者の皆さんと、出産や子育てあるある話だけでなく、趣味やちょっとした息抜き話など何でも気軽にお話できたらいいなあと思っています。久しぶりに、小さな子どもたちと触れ合えるのもとても楽しみにしています！

どうぞ宜しくお願いします♡

（西南子どもプラザスタッフ 川波理紗子）

行事のご案内

コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、

全ての行事をお休みさせていただきます。

